

ネット広告やマーケティング支援

上越印刷が新子会社

デジタル分野に特化

上越印刷工業（前橋市大渡町、関智宏社長）は、デジタル分野に特化した子会社を設立、事業拡大を進める。デジタル活用のコンサルティングなどを手掛ける会社と連携、印刷による広告事業との相乗効果も図る。

新会社は「JOET

SUデジタルコミュニ

ケーションズ（JD

C）」。資本金1千万

円を上越印刷工業が出

資し、社長は関社長が

兼務する。設立は今年

1日付。

JDCは、インター

ネットでの広告やマー

ケティング支援などを

手掛ける。パソコンや

スマートフォンなどデ

ジタル端末利用者の興

味やパーソナリティー

に合致した広告内容を

適切なタイミングで送

るといったサービスも

提供予定という。

上越印刷工業はこれまでも折り込みチラシ

など印刷広告できめ細かな提案をしてきた。顧客との対話力を生か

し、県内中小企業が抱えるマーケティングの課題をデジタルを駆使して解決することで、印刷事業の拡大も見込めるとしている。

設立に合わせ、ソウルアウト（東京都千代田区、荻原猛会長）

と戦略的パートナーシップ契約を締結した。同社は、主に中小企業を対象としたデジタルマーケティングなどを手掛けており、JDCでは、ソウルアウトの浅見剛執行役員が社外取締役を務める。